

2024年8月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

ニッセイプライベートリート投資法人への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、ニッセイプライベートリート投資法人（執行役員：田中 一宏/以下、「本投資法人」）に対し、本投資法人策定の「グリーンローン・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）に基づくグリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

【本ローンの概要】

契約日	2024年8月28日
実行日	2024年8月30日
契約金額	10億円
契約期間	8年
貸付人	三井住友銀行

本投資法人は、2016年設立の非上場オープンエンド型私募リートで、オフィスビルを中核とし、物流施設、住宅、商業などのアセットを東京圏、大阪圏、その他全国各地に幅広く保有しています。本投資法人の資産運用業務は、日本生命と大林組が出資するニッセイリアルティマネジメント株式会社（以下、「本資産運用会社」）が務めており、環境や地域・社会と共生し、日本経済・企業と安定的な成長を共有していく視点を踏まえたポートフォリオ構築を基本理念としています。

本資産運用会社は、保有物件における効率的なエネルギー利用の推進や、省エネルギーに資する設備の導入等により、CO2排出量削減に努めることで低炭素社会の形成に寄与し、気候変動への対応を推進すること、また水資源の効率的な利用や、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）に努めることで、循環型社会の形成に寄与することを基本方針として掲げております。また、本投資法人に関する外部評価及び保有物件に関する外部認証を活用することで、サステナビリティ推進活動の成果の客観性を高めるとともに、さらなる改善に努めることを基本方針として掲げております。

今般、本投資法人はこのような取組みの一環として、適格クライテリアを充足する物件取得資金のリファイナンス資金を、グリーンローンにて調達いたしました。本フレームワークは、国際金融業界団体のLMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2023年版）」及び環境省が定める「グリーンローンガイドライン 2022年版」に適合する旨の第三者評価を株式会社格付投資情報センター（R&I）より取得しています。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

(参考)

ニッセイプライベートリート投資法人ホームページ：

<https://nissay-pr.co.jp/>をご参照下さい。

株式会社格付投資情報センター（R&I）による「セカンド・オピニオン」の詳細：

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。